

2005・2006年度の全国・中国地域の経済見通し（2005年7月）

《中国地域経済は、2005年度は景気調整局面が続くものの、4年連続のプラス成長を確保》

○当社エネルギー総合研究所は、独自に作成した計量経済モデルに最新の経済情勢を織り込んで、2005・2006年度の全国・中国地域の経済見通しを以下のとおりまとめました。

【要約】

1. 2005年度

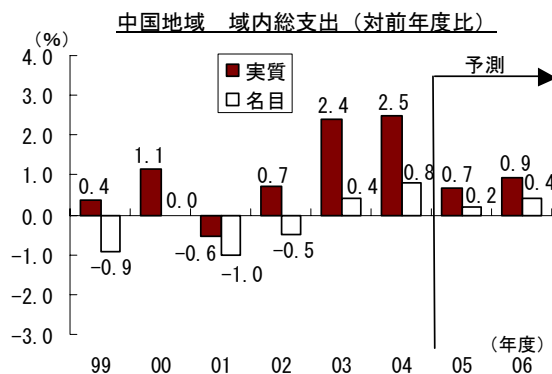
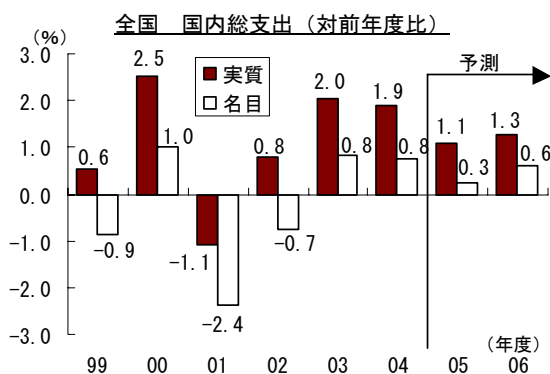
＜全 国＞社会保障費負担増の影響などから個人消費の伸びは一段と緩やかとなるほか、海外経済の減速から輸出・生産は伸び悩むなど、年度前半を中心に景気調整局面が続く。ただ、米国をはじめとする海外経済の減速は限定的となることから、わが国の景気の足踏みは比較的軽微で短期間にとどまる。この結果、実質経済成長率は前年度を下回る 1.1%となるものの、4年連続のプラス成長、名目経済成長率は0.3%と3年連続のプラス成長となる。

＜中国地域＞年金保険料引き上げなど家計における社会保障費負担増の影響等から、個人消費や住宅投資が鈍化する。また、2004年度後半からの海外経済の減速に伴う景気調整局面入りの影響で輸出・生産の増勢が衰えるとともに、設備投資も一巡する。この結果、実質域内経済成長率は前年度を下回る 0.7%の伸びとなるものの、4年連続のプラス成長、名目域内経済成長率は0.2%と3年連続のプラス成長となる。

2. 2006年度

＜全 国＞所得税定率減税全面廃止など前年に続き家計負担増があるものの、海外経済の持ち直しを背景に輸出・生産が増勢を回復する。これにより、企業収益や雇用・所得環境の改善が見込まれることから、個人消費や設備投資が底堅く推移する。この結果、実質経済成長率は前年度を上回る 1.3%と5年連続のプラス成長となる。また、名目経済成長率も0.6%と4年連続のプラス成長となる。

＜中国地域＞全国同様、税・社会保障制度変更に伴う家計負担増は避けられないものの、海外経済の復調や在庫調整の完了などにより、輸出・生産が再び増加テンポを強める。これを受け、企業収益や所得・雇用環境の改善が見込まれることから、個人消費と設備投資がプラスの伸びを確保する。この結果、実質域内経済成長率は前年度を上回る 0.9%と5年連続のプラス成長となる。また、名目域内経済成長率も0.4%と4年連続のプラス成長となる。



資料：内閣府「国民経済計算」「県民経済計算」

注：中国地域の03,04年度は当研究所の推計値

※全国：2000年基準、中国地域：1995年基準に基づき予測 <P.2（注1）参照>

○2005・2006年度の全国・中国地域の経済見通し（総括表）

（単位：兆円，％）

	中国地域（1995年基準）			全 国（2000年基準）		
	2004年度 （推計）	2005年度 （予測）	2006年度 （予測）	2004年度 （実績）	2005年度 （予測）	2006年度 （予測）
名目国内（域内）総支出	28.87 (0.8)	28.93 (0.2)	29.04 (0.4)	505.5 (0.8)	506.8 (0.3)	509.8 (0.6)
実質国内（域内）総支出	30.85 (2.5)	31.05 (0.7)	31.34 (0.9)	534.0 (1.9)	539.9 (1.1)	546.8 (1.3)
民間最終消費	14.87 (2.0)	14.99 (0.8)	15.07 (0.5)	296.1 (1.2)	299.0 (1.0)	300.9 (0.6)
民間住宅投資	0.92 (1.6)	0.91 (-1.5)	0.91 (-0.2)	18.7 (2.1)	18.3 (-2.1)	18.3 (0.2)
民間設備投資	5.01 (7.8)	5.10 (1.9)	5.22 (2.4)	86.1 (5.3)	88.6 (2.8)	91.5 (3.3)
公的固定資本形成	1.74 (-15.3)	1.65 (-5.4)	1.60 (-2.8)	24.0 (-15.1)	23.1 (-3.7)	22.7 (-1.8)
輸出（移・輸出）	24.67 (3.4)	25.14 (1.9)	25.49 (1.4)	70.4 (11.9)	72.3 (2.7)	73.4 (1.6)
輸入（移・輸入）	22.94 (3.3)	23.27 (1.4)	23.50 (1.0)	55.4 (9.3)	57.8 (4.3)	59.0 (2.0)
内需寄与度	—	—	—	1.4	1.2	1.1
外需寄与度	—	—	—	0.5	-0.1	0.1
国内企業物価指数	—	—	—	96.4 (1.5)	96.6 (0.2)	96.8 (0.2)
消費者物価指数	—	—	—	98.0 (-0.1)	97.8 (-0.2)	97.8 (0.0)

（注1）全国は2000年基準実質値（内閣府が「2004年7-9月期GDP2次速報」から導入した新推計方式に基づいて算出）
中国地域は1995年基準実質値（「県民経済計算」が1995年基準のままであるため、1995年基準で算出）
推計方式や基準年等が異なるため、全国と中国地域の実質経済成長率等の数値の単純な比較はできない。

（注2）「移出（移入）」とは、国内他地域向け（他地域から調達）の製品出荷額・販売額、他地域の居住者の（居住者の域外での）観光消費などからなる。

○主要前提条件

- ・ 米国実質成長率…… 減税効果の剥落，原油価格高騰などを背景に成長率は低下
- ・ 為替レート…………… 米国の「双子の赤字」懸念等から，年度ではやや円高に
- ・ 原油価格…………… 海外経済の持ち直しに伴う需要増を背景に，現状水準程度で推移
- ・ 金融政策…………… 消費者物価は前年比0.0%近傍での推移となる見通しであることから，金融緩和政策は継続
- ・ 財政政策…………… 緊縮路線のもと，抑制基調は継続

	2004年度 （実績）	2005年度 （予測）	2006年度 （予測）
米国実質経済成長率（％）	4.4	3.2	3.5
為替レート（¥/\$）	107.5	105.0	104.0
原油価格（\$/バレル）	38.7	41.0	41.0
公定歩合（％：平均）	0.10	0.10	0.10

（注）米国実質経済成長率は暦年値

<中国地域—主要需要項目別見通し>

○民間最終消費（図1）

（2005年度）年金保険料引上げ，配偶者特別控除上乘せ分廃止，所得税定率減税の段階的廃止，などがあるものの，年度後半からの海外経済の持ち直しを背景とした企業部門の底堅い推移が雇用・所得環境の緩やかな改善を下支えすることから，前年比0.8%となる。（全国1.0%）

（2006年度）海外経済の復調に伴う企業収益の持ち直しを背景に，雇用・所得環境の緩やかな改善が見込まれるものの，所得税定率減税の全面廃止や国民年金保険料引き上げなどにより，前年比0.5%となる。（全国0.6%）

○民間住宅投資（図2）

（2005年度）年金保険料引上げや所得税定率減税の段階的廃止などに伴う家計負担増で購買意欲が抑制されることに加え，前年の住宅ローン減税縮小前駆け込み需要の反動減などにより，前年比1.5%となる。（全国2.1%）

（2006年度）所得税定率減税全面廃止など家計負担増を背景に年度前半を中心に支出抑制スタンスが続くものの，団塊の世代の建て替え需要や団塊ジュニア世代が住宅取得適齢期に到達しつつあることなどにより，前年比0.2%となる。（全国0.2%）

2005年度 新設住宅着工戸数（当研究所予測）

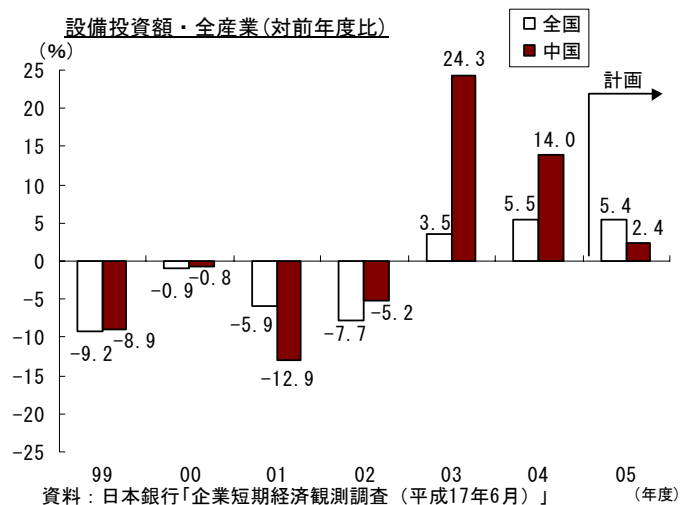
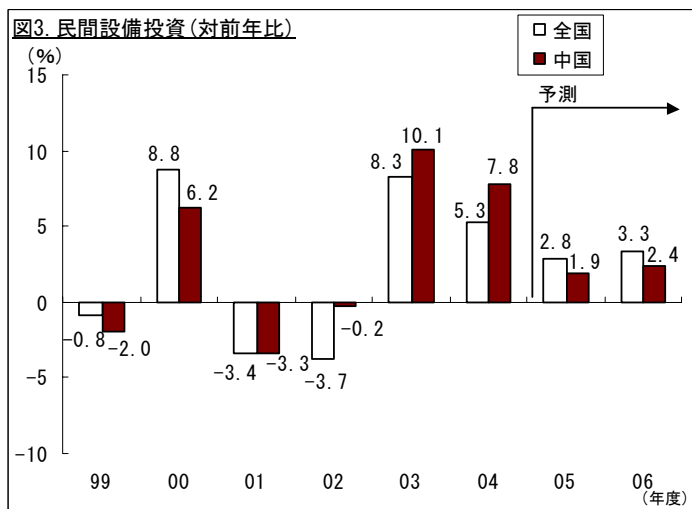
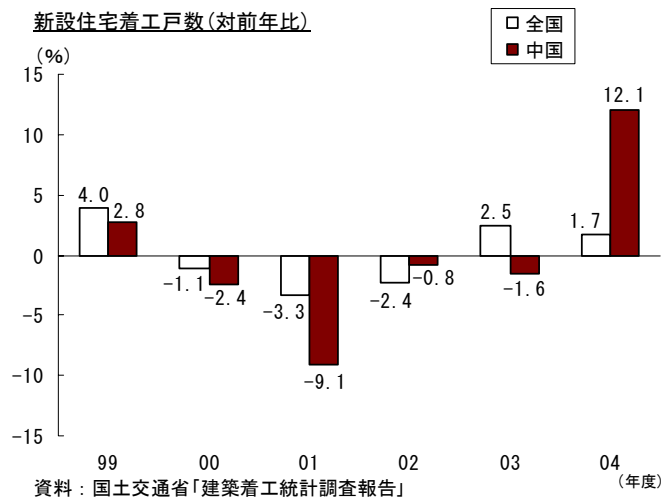
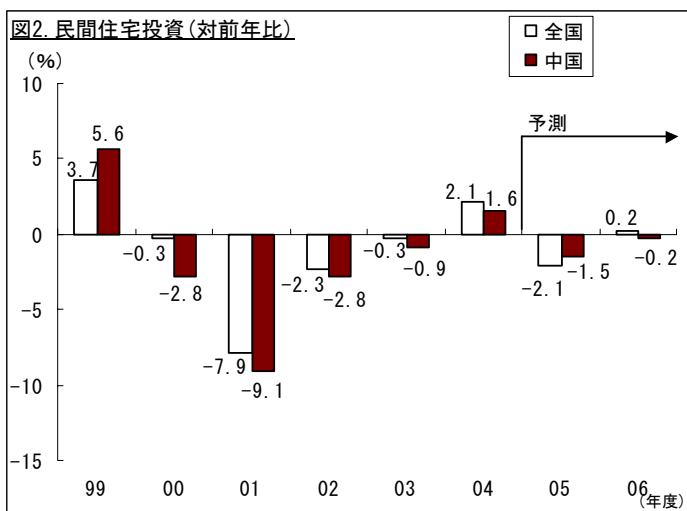
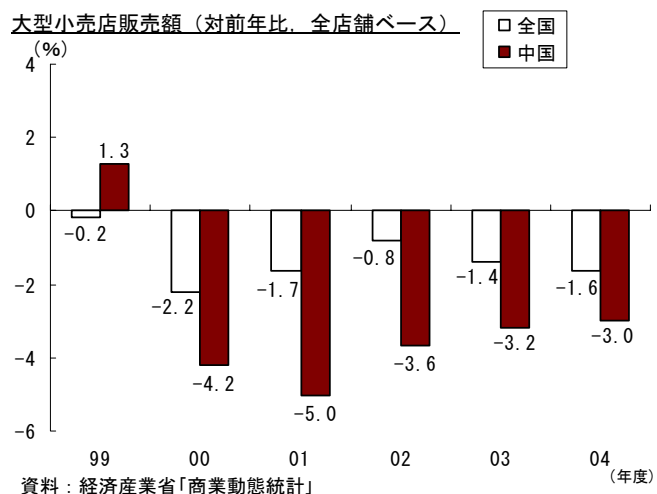
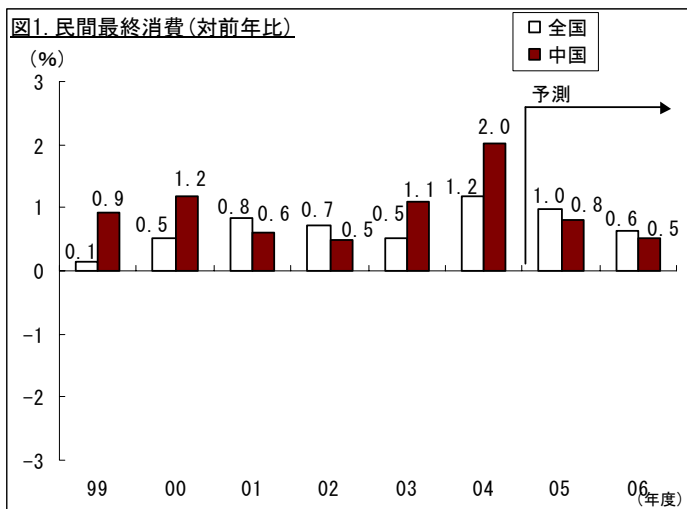
全国：119.0万戸（前年比1.0%）

中国地域：4.9万戸（前年比1.3%）

○民間設備投資（図3）

（2005年度）鉄鋼や電気機械での増産対応投資，化学での能力増強投資や設備維持・更新投資，パルプ・紙や石油での環境対応投資など製造業を中心とした設備投資により，前年比1.9%となる。（全国2.8%）

（2006年度）海外経済の持ち直しや在庫調整の完了などを背景とした輸出・生産の増勢回復が下支えとなって，企業収益がプラスの伸びを維持すると見込まれることから，前年比2.4%となる。（全国3.3%）



○公的固定資本形成（図4）

（2005年度）地方財政計画では、引き続き投資的経費削減の方針が打ち出されていることなどから、前年比 5.4%となる。

（全国 3.7%）

（2006年度）国の財政構造改革路線を背景に、地方では投資的経費削減など緊縮型財政運営が維持される見込みであることから、前年比 2.8%となる。

（全国 1.8%）

（参考）公的固定資本形成が国内総支出（域内総支出）に占める割合（2004年度）

全国：4.5%

中国地域：5.7%（推計値）

○域外需要（移・輸出－移・輸入）

<移・輸出>（図5）

（2005年度）米国の景気拡大テンポが減税効果の剥落や金利引き上げ効果によりペースダウンする、中国における投資抑制をはじめとした経済引き締め政策の影響、など年度前半は海外経済の減速を背景に輸出の鈍化が見込まれる。しかしながら、年度後半からの景気持ち直しに伴い、域内需要も生産の増加に合わせた緩やかな回復が見込まれることなどから、前年比 1.9%となる。

（全国 輸出 2.7%）

（2006年度）米国や中国など海外経済の持ち直しを受けて、IT・デジタル関連分野を中心に輸出の増勢が回復するとともに、為替相場が円高基調で推移していくと見込まれることなどから、前年比 1.4%となる。

（全国 輸出 1.6%）

<移・輸入>（図6）

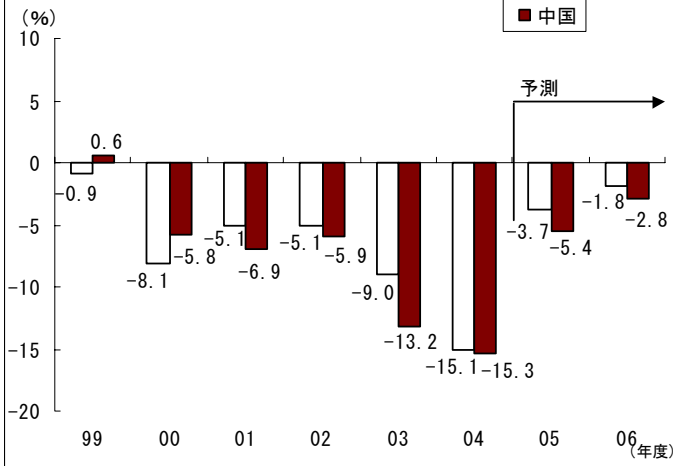
（2005年度）景気調整局面を背景に、域内需要の伸びは前年よりも鈍化する見込みであることなどから、前年比 1.4%となる。

（全国 輸入 4.3%）

（2006年度）景気持ち直しに伴う内需の緩やかな回復を背景に、海外生産拠点からの製品輸入や域内需要の増加が見込まれることなどから、前年比 1.0%となる。

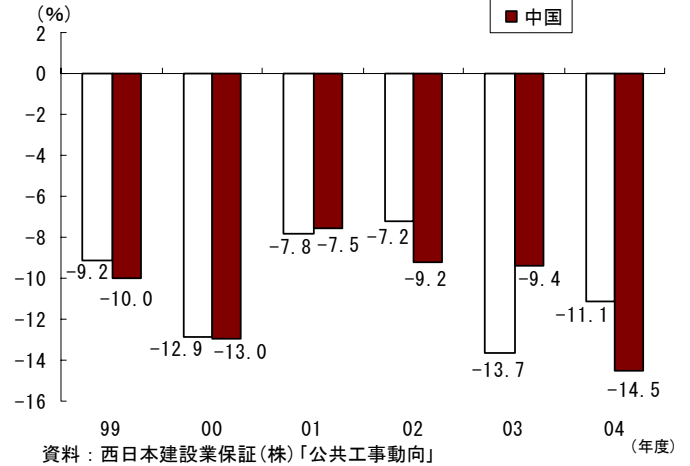
（全国 輸入 2.0%）

図4. 公的固定資本形成(対前年比)



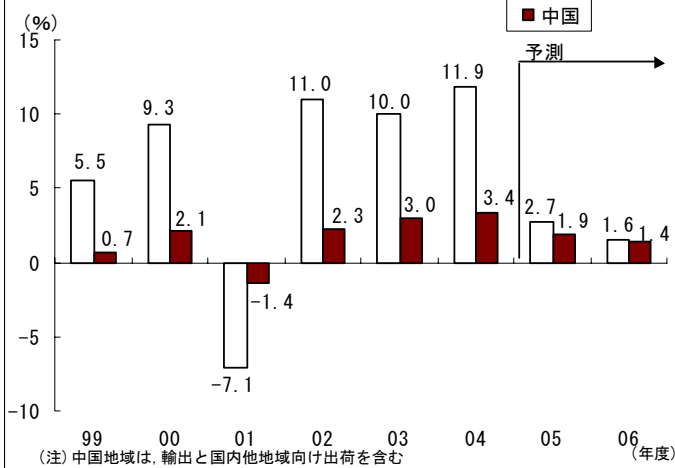
注：中国地域の03,04年度は当研究所の推計値
資料：内閣府「国民経済計算」「県民経済計算」

公共工事請負金額(対前年比)



資料：西日本建設業保証(株)「公共工事動向」

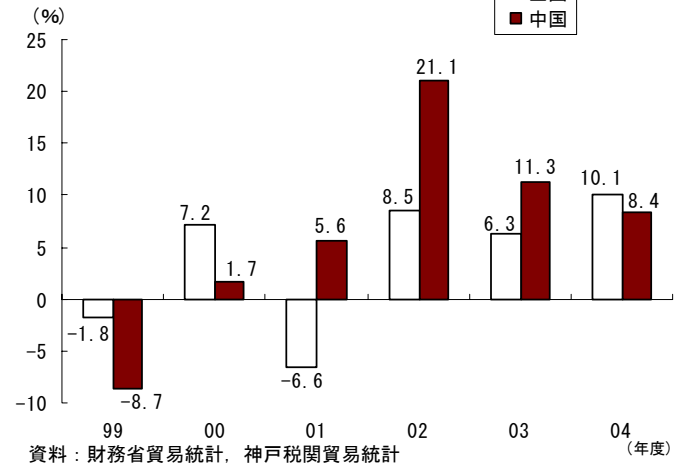
図5. 輸出(移・輸出)(対前年比)



(注)中国地域は、輸出と国内他地域向け出荷を含む

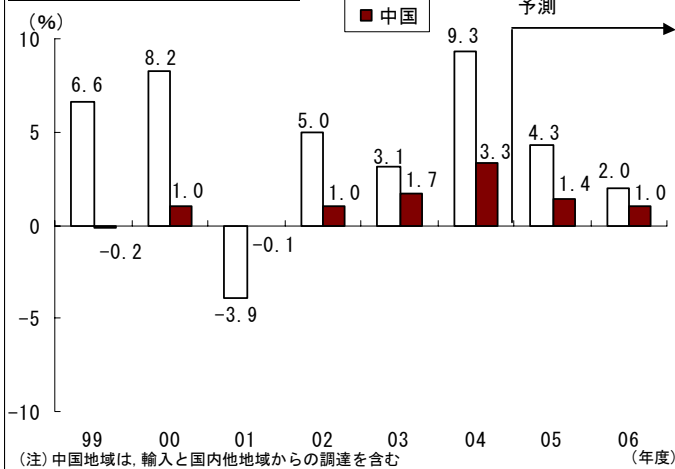
注：中国地域の03,04年度は当研究所の推計値
資料：内閣府「国民経済計算」「県民経済計算」

輸出(対前年比、通関円ベース)



資料：財務省貿易統計、神戸税関貿易統計

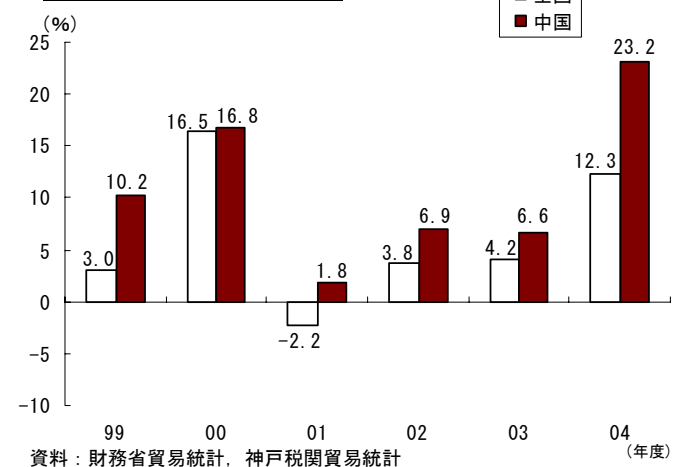
図6. 輸入(移・輸入)(対前年比)



(注)中国地域は、輸入と国内他地域からの調達を含む

注：中国地域の03,04年度は当研究所の推計値
資料：内閣府「国民経済計算」「県民経済計算」

輸入(対前年比、通関円ベース)



資料：財務省貿易統計、神戸税関貿易統計

(参考) ケース別シミュレーション

～人民元切り上げの影響はマクロではきわめて限定的だが、先行きは不透明～

以下では、3つのケースについて、標準予測(2005年度)からの乖離の程度を試算した。

1. 中国人民元切り上げの影響

中国人民元が2%切り上げられたことに伴い、中国地域の実質GDPは、中国経済の減速による中国向け輸出の減少から0.02ポイント程度押し下げられる半面、円安効果による中国向け輸出の増加から0.01ポイント程度押し上げられ、総合的には0.01ポイント程度押し下げられるものとみられる。このように、今回の人民元切り上げによる中国地域マクロ経済への直接的影響はきわめて限定的なものにとどまると考えられる。ただし、中国当局の運用次第では当初の切り上げ幅2%を超えて元高が進展することも考えられ、予断を許さない。

	総合効果	所得効果	価格(為替レート)効果
人民元切り上げ率 <ドル/元ベース> (%)	2.0	-	2.0
中国実質GDP押し下げ幅 (ポイント)	▲ 0.3	▲ 0.3	-
中国地域の中国向け輸出 <実質> (ポイント)	▲ 0.1	▲ 0.4	0.3
中国地域の実質GDP押し下げ幅 (ポイント)	▲ 0.01	▲ 0.02	0.01

(注) 効果は、2%の切り上げ幅が1年間を通じて持続したと仮定した場合の値

2. 原油価格がさらに高騰した場合の影響

標準予測では2005年度の原油価格は年度平均41ドル/バレル(通関輸入価格ベース)とみたが、昨今予想外の価格高騰も見られることから、ここでは仮に価格が標準ケースの2倍(約80ドル)に高騰した場合を想定すると、わが国の実質経済成長率は標準ケースより約0.6ポイント低下、輸出(実質)は石油製品価格上昇による世界経済の減速などから約1.5ポイント押し下げられるものとみられる。

実質GDP	実質輸出	企業物価指数
▲ 0.6	▲ 1.5	2.0

(注) 値は前提条件が年度を通じて持続した場合の影響の程度を表す

3. クール・ビズの経済効果

この夏の軽装励行運動に伴い、仮に全国の約1,500万人とも言われるホワイト・カラー(中国地域を含む)の約1割強がいわゆるクール・ビズのための追加的な支出(衣料品等)を行った場合、中国地域では約59億円の経済効果が見込まれる。ただ、中国地域名目GDPの押し上げ率は0.01%程度にとどまるなど、マクロ経済全体や関連部門への効果はきわめて限定的とみられる。クール・ビズは、経済効果よりも本来の省エネ効果に期待すべきであろう。

[夏の軽装化の経済効果(中国地域)]

直接効果(億円)	一次効果 ① (億円)	二次効果 ② (億円)	総効果 ①+② (億円)	付加価値の増加 (億円)	GDP押し上げ率 (%)
34.2	43.7	15.1	58.8	34.4	0.01

[主な産業部門別の域内生産額の押し上げ率(中国地域)] (%)

繊維工業製品	衣服・その他の繊維製品	化学繊維	商業
0.05	0.31	0.02	0.04

(注) 試算には、内閣府、第一生命経済研究所などの公表値を利用